

2016年度 中学3年 年間学習指導計画表

担任：中村 菊子

中学部の3つの方針：

1. 教師中心型ではなく、学習者主体型の、生徒が主体的に学習に取り組めるような学習環境を整える。
2. 場面に応じた日本語を使い、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。
3. グループディスカッションができるようにする。

学期	テーマ	単元	学習内容
1	私と家族 毎日の生活/日本の生活 日本とのつながり 先輩セッション	オリエンテーション 文法に親しもう 和語・漢語・外来語 慣用句・ことわざ・故事成語 「私と家族」「毎日の生活/日本の生活」に関する読み物 先輩セッション	<ul style="list-style-type: none"> • 文法の復習をする。 • 和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。 • 慣用句やことわざ、故事成語の語義を知り、日常生活でどのように使用されているかを知る。 • 書かれている内容を理解する。 • 書かれている内容の背景を想像し、言葉で表す。 • 書かれている内容の文化的背景を理解し、習慣や価値観の違いを知る。 • 小学校の基本的な漢字の復習をする。 • 土曜校の卒業生との話を通して、卒業後の進路について考える機会を持つ。
2	変化に対して 日本人の価値観（国際社会の中で） 漢字先生	情報発信について考えよう すかいは幾つ必要 言葉を選ぼう 推敲して文章を整える 「変化に対して」「日本人の価値観（国際社会の中で）」に関する読み物 漢字先生	<ul style="list-style-type: none"> • 現代のメディアについて考え、自分の意見を持つ。 • 文節の対応や、多義文、呼応の副詞、助詞の違いによるニュアンスの違いについて理解し、わかりやすい文章にするポイントを掴む。 • 読みやすくわかりやすい文章にする観点をおさえる。 • 言葉の性質を理解し、伝わりやすい表現を考える。 • 書かれている内容を要約し、作者の意見、見解、立場を推測する。 • 書かれている内容に対し、自分なりの意見・見解を持つ。 • 小学校の基本的な漢字の復習をする。

3	社会問題と環境問題 お楽しみ会の劇	文章の形態を選んで書く 評価しながら聞く 社会との関わりを伝えよう 熟語の読み方 「社会問題と環境問題」に関する読み物 お楽しみ会の劇	<ul style="list-style-type: none"> • 伝えたい内容と目的を明確にし、それにふさわしい文章形態を選んで書く。 • 相手や目的を意識した文章を書く。 • 社会問題/環境問題に関するトピックを選び、自分の経験に基づいて論理的に意見を展開する。 • 意見文を書き、クラスで発表（スピーチ）する。 • 友達の意見と自分の意見を比較する。 • 友達の意見を内容についての賛否や論理的に述べているかなどを評価し、自分の意見に生かす。 • 熟語の読み方を知る。 • みんなで協力して創作劇を作り上げる。
4	私と土曜校 私の将来 文集作り	言葉を見つめる 話し合って提案をまとめよう 「ない」の違いがわからない 「将来」に関する読み物 文集づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 俳句を読む楽しさを知り、想像を働かせながら読み味わう態度を養う。 • 感動の中心が伝わるよう、語句や語順、表現の仕方を工夫して書く（文集、エントリーシートなど）。 • これまで学習した文法の知識や考え方を理解する。（文節・単語といった言葉の単位、文の成分、文節どうしの関係などについて知識を確認する。） • 土曜校卒業を前にした気持ちを自分の言葉で表現する。

• 授業の進捗状況、学校行事、生徒の理解度等の事情により、取り扱う単元や時期が異なることがあります。